

「パートナーシップで創る 快適な都市環境と自然が調和したまち」の実現に向けて

このたび「第4次名古屋市環境基本計画」を策定しました。

2015年に国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」を達成するには、あらゆる主体の参画により、環境・経済・社会が調和した持続可能な社会の実現に向けた取り組みをすすめていくことが求められています。

名古屋市は、2019年SDGs未来都市に選定されました。SDGsは、世界の共通目標であると同時に、日々の生活や事業活動の中で目指す目標でもあります。私たち一人ひとりがSDGsの理念を踏まえ、環境問題を自分ごととし何ができるかを考え実践するとともに、環境問題の解決に向け、行政だけではなく市民や事業者の皆さまと力を合わせ、共に取り組むきっかけとなることを願って本計画を策定しています。

新型コロナウイルス（COVID-19）感染症拡大は、ライフスタイルや価値観の変化など社会を大きく変化させ、身近な自然に目を向け人の活動と自然の関係について改めて考えるきっかけとなりました。

また、異常気象が世界各地で発生するなど、気候変動問題は世界共通の喫緊の課題となっています。

環境問題は、一人ひとりのライフスタイルや経済・社会システムと深く関わっており、環境問題の解決にはあらゆる観点からの社会変革が求められています。計画の推進を通じ、大気や水などが良好に保たれた快適な生活環境を保全するとともに、生物多様性の保全や気候変動問題、循環型社会の実現といった環境問題の解決に向け、経済や社会との統合的向上を図る取り組みに果敢にチャレンジしてまいります。

本市は「ごみ非常事態宣言」を乗り越えたパートナーシップを基盤にし、2010年の生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）の開催などをステップにしながら、様々な分野でのパートナーシップの取り組みをすすめてまいりました。市民や事業者の皆さまとのパートナーシップを一層発展させることで“快適な都市環境と自然が調和したまち”の実現に向け、共に取り組んでいきましょう。

令和3年9月

名古屋市長 河村 たかし